

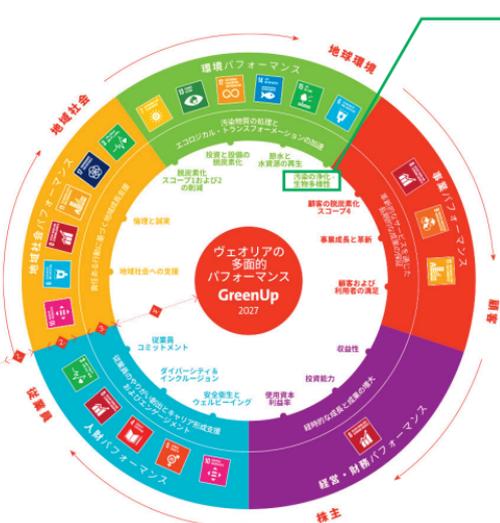


《将来に向けた取組方針》

ヴェオリアは、エコロジカル・トランスフォーメーション（環境変革）のリーダー企業として、環境課題に取り組む大きな責務があると考えています。当社のパーパス（存在意義）である「人類の進歩と環境保全を両立すること」を念頭に、各事業で脱炭素、汚染の浄化、資源の再生を加速させ、生物多様性対策においては特に、以下の2点で積極的に関与しています。

1. 事業活動が環境に与える影響の低減、
2. 生態系および種の保全に良好な状態の創出

《具体的な取り組み》 2027年までの新経営戦略「GreenUp」でKPIを設定し、取り組みを拡大します。



●汚染の浄化 - 生物多様性

1. 化学農薬の使用ゼロ

当社が管理する緑地では、化学農薬の使用を控える取り組みを推進しています。当社グループ独自の緑地憲章を制定し、緑地管理委託会社と連携しながら環境および生態系に配慮した緑地管理を実施しています。2024年4月時点で、15の事業所で“化学農薬の使用ゼロ”を実現、5つの事業所で緑地憲章を締結しました。2027年までに対象の全事業所へ取り組みを広げます。



2. 生物多様性フットプリントの把握と対策の実施

外部専門家によるグローバルスタンダードに基づいた生物多様性フットプリント調査を実施し、アクションプランを作成した上で対策を行っています。2023年末までに3件実施し、今後対策を継続、強化していきます。



3. 社内意識啓発

独自のe-ラーニング教材を開発・展開するなど、日々の業務に生物多様性の視点を取り入れるよう活動しています。

